

主な質疑		教育委員会の考え
代替校舎・第五中への影響		
1	第五中の校庭が狭くなると、部活動や運動会などにおける制限が出てくると思いますが、対応策をどのように考えていますか。	第五中の校庭は、約6,300㎡と区内の学校の中では広めの校庭ではありますが、代替校舎が建つと一定程度狭くなります。区としては、第七峡田小近くの公有地を運動場として借用することなども含めて検討しています。
2	現在小学4年生ですが、第五中に進学した場合、どの校舎に通学することになりますか。	令和8年度時点で小学4年生のお子様が第五中へ進学する場合、第五中の現校舎に通うことになります。 (参考) 第五中の校庭に建設する代替校舎の利用予定は以下のとおりです。 ・令和14～17年度：第七峡田小在校生 ・令和19～22年度：第四峡田小在校生 ・以降、建替え第二期校も使用予定あり
3	第五中の生徒は、いつまで現校舎に通うことになりますか。	第五中の生徒は、令和17年度まで既存校舎に通学し、令和18年度から、第七峡田小の敷地に建設する小中一貫校へ通学予定です。
4	第五中に通うにあたり、校庭が狭くなるということですが、他に影響はありますか。	令和12・13年度の代替校舎建設工事期間中、工事車両と生徒の動線の分離や騒音等の影響が生じます。建設予定の代替校舎の仕様や設計、工事の手法はこれから検討してまいります。
5	第五中の校庭に代替校舎を建設する工事について、令和12年度のいつ頃から開始される想定ですか。第五中は例年5月末に運動会を実施しているため、令和12年度の運動会がこれまで通り実施できるのか、心配しています。	第五中の代替校舎は令和10年度から設計の詳細を検討する予定です。工事の着工時期の詳細についても今後の設計の中で決定してまいります。他自治体の学校建替えにおける先行事例におきましても、運動会などの主要な行事が終了した後に着工するなど、教育活動に配慮したスケジュール調整を行っているケースもございます。着工時期や工期の調整にあたっては、最大限配慮できるよう検討してまいります。
6	第五中の校庭に建てる代替校舎についての検討状況や決定事項について、今後、どのような方法で、情報提供や説明をしていただけるのでしょうか。	第五中の校庭に建設する代替校舎の設計は、令和10年度から着手する予定です。1年間かけて、様々な角度から比較検討を行ってまいります。これらに関する検討結果や決定事項については、方向性がまとまり次第、できるだけ早い段階で説明会等を通じてお伝えいたします。
7	今後も説明会を開催していく予定はあるのでしょうか。	今回の説明会は、学校施設建替え計画の全体的な検討状況や影響をご説明するために開催したものです。今後、建替え工事や代替校舎の建設等、具体的に影響が生じる学校が順次出てまいります。それぞれの対象校ごとに、個別の説明会を開催していく予定です。
学校選択制度		
8	学校選択制度において、建替えを理由とした優先的な対応はとらないとのことですが、住所で学校が決まり、新しい校舎に通う訳ではなく、建替えの影響や制限を受ける中、抽選で希望校に落ちたら諦めるしかないという現状の制度には納得がいきません。どの子にも平等な学習機会や環境が与えられるべきだと考えますので、もう少し検討してほしい。	中学校の学校選択制度は、荒川区内の全区域から選択できる仕組みであり、隣接区域のみ選択可能な小学校の制度とは異なっています。仮に、優先枠を設けた場合でも、その枠内で希望者が定員を超えれば抽選が発生する可能性があります。現行制度でも、希望者が受入可能人数を超えた場合は、まず通学区域内の生徒を受け入れ、余剰枠について抽選を行っています。各学校には施設規模や教室数などの上限があるため、建替えの影響がある通学区域の生徒を優先したとしても、抽選を完全に回避することは難しい状況です。こうした事情から、現時点では建替えを理由とした学校選択制度の優先的な取扱いには検討しておりません。ご要望につきましては、ご意見として承ります。
9	学校選択制度において、学校を選択する際の判断基準とするため、各学校の生徒の受け入れ上限を事前に教えてほしい。	例年、9月頃に翌年度入学者に向けた学校案内を配布しています。この学校案内に、受入可能生徒数を掲載しています。
小中一貫校（教育環境・設計）		

主な質疑			教育委員会の考え
	10	第七峡田小の敷地に建設する小中一貫校について、プールはつくらない想定でしょうか。	第七峡田小・第五中の小中一貫校には、プールを設置予定です。配置等は今後検討してまいります。
	11	第七峡田小・第五中の小中一貫校について、小学生と中学生が同じ建物の中で過ごすことになりませんが、中休みや昼休み等で使う校庭や体育館はどう分けていくのですか。	小学校と中学校では活動の仕方が異なり、同じ空間で同じ活動をすることで、接触による怪我などの懸念もございます。時間帯を分けることや、2つの体育館の利用方法等も含めて、検討を進めてまいります。
	12	経験上、幼稚園・小学校・中学校が同じ建物内で過ごす環境で、小学生にとって中学生を怖いと感じることがありました。小学生が安全に体を動かせる場所を確保してほしい。	第七峡田小・第五中の小中一貫校の設計については、これから具体的に検討してまいります。いただいたご意見は貴重なものと受け止めており、今後、保護者や地域の皆様からのご意見も踏まえながら、検討を進めてまいります。
	13	第七峡田小・第五中が小中一貫校となった際、運動会を第七峡田小敷地に整備する校庭で実施するのは狭いと感じます。他に開催できる場所を確保してほしい。	運動会の開催場所については、近隣校の利用も含めて、引き続き調整を進めてまいります。